

「みんなでつくろう さむかわ」の実施により寄せられた意見等

意見提出者： 4人 意見総数： 15件

人口ビジョンに関する意見

No.	意見
1	今までの様な社会の仕組みを維持しようとするから人口が減少することが「問題」となる。発想を変えて65歳以上の方には小麦、肉、野菜等の無料引換券を発行し、「食べることを自分で解決してもらう（自分で食べることが生き甲斐→健康に繋がる）」といった大胆な発想の転換が必要なのでは。

総合戦略に関する意見等

No.	提案内容等	提案理由等
1	4つのテーマ毎に推進会議を設置し、町民と行政が協働により戦略案を策定する。	住みたい町として選ばれるには、現在住んでいる人が住みよい町と感じる事が大前提であり、そういった町では行政の支援のもと住民が積極的にまちづくりに参画している。寒川町民のまちづくりに対する関心はいま一步の様に感じる。町民が自ら考え、提案し、まちづくりに積極的に参加出来る場として推進会議を設置し、町民が人口増へ繋がる意識を高めることが必要と考える。
2	寒川町を「聖地」と位置付け、人口獲得を狙う。	岡田遺跡には縄文時代中期の集落跡が1,000軒以上あり、全国で最大規模となっている。縄文人にも定住先として選ばれた場所である背景を利用し、寒川町を「聖地」と位置付ける事により人口の獲得を狙う。
3	寒川神社監修により「水難のお守り」を作成し、「八方除」とともにふるさと納税の返礼品とする。	寒川神社に祀られている寒川比古命と寒川比女命は相模湾と相模川の猛威と恩恵を崇めた自然神・水神神格と想定している説がある。現在、寒川神社のお守りには、「火災」についてはあるものの、「水難」としては設けられていない様である。近年は局地的な豪雨による水難も目立つ事から、水の神を持つ寒川町から水難被害者等へお守りのお裾分けとして「水難のお守り」を作成し、ふるさと納税の返礼品とすることで地域活性化策とする。
4	「神社」に関連した自治体と新たな姉妹都市として提携する。	千葉県千葉市中央区寒川町の「寒川神社」や、香川県さぬき市寒川町の「大藪彦神社」など寒川神社に関連のある神社が存在する自治体と新たに姉妹都市提携し、提携自治体間での移動に伴う費用や特産品の割引など「人」、「モノ」の行き来に関するサービスを実施することにより地域活性化を図る。
5	神社とわいわい市の間の農地を憩いの場として整備する。	当該地の用途変更については相当の時間がかかることが想定されるため、古代米の田んぼが広がり、蓮根などの湿性農産物を生産販売するなど、農用地のまま住民の憩いの場として整備することで勤労者の移住及び企業誘致政策の一環とする。
6	遊休農地を有効活用する（貸し農園の町、寒川）。	遊休農地を大規模な指導者付の貸し農園とし高齢者や町民の憩いの場とすることで勤労者の移住及び企業誘致政策の一環とする。
7	学力を向上させる。	中高一貫校を誘致し、地域学力を向上させることで寒川町への移住者確保の一環とする。
8	町内企業に対する支援を行う。	寒川町は昔から製造業を中心に発展してきた町であり、町創生の基本は製造業並びに関連企業の維持及び発展にあるため、製造業の企業及びその従業員に対する支援を増やす必要があると考える。
9	マンションを誘致する。	高度制限を解除し、マンションを誘致し固定資産税及び住民税の増収を図るとともに商業の発展等、町の活性化を図る。
10	相模線を複線化する。	JRに補助金を交付し、相模線を複線化することにより人口の確保及び町の活性化を図る。
11	公園へ健康器具を設置する。	駅前公園から始め、町内の各公園に健康器具を設置することにより高齢者の健康増進を図ると共に、高齢者の「社交場」とする。
12	農産物をブランド化する。	都市近郊農地として成り立つための方策として、農地が並ぶ街道を整備し関連する商品をブランド化する事により、町の農業を活性化する。
13	フリークライミングの町にする。	宮山駅前のクライミングジムにあるクライミング施設の大型版を河畔公園に設置し、青少年が集まる町とする。併せてBMXのコースも設置することでより多くの青少年が集まり、寒川の新しいイメージを生み出すことが出来る。
14	産業祭りに製造業の参加を促す。	現在の産業祭りは「産業」ではなく「農業」が主になっている様に感じる。町に欠かすことの出来ない製造業をもっと町民に知ってもらたため、企業の規模に応じた公的な支援を行うことで参加者を増やし、町の製造業従業員も集い楽しめる場所にする。寒川町には日本有数の企業は多くあり、企業従業員から住みやすい町と言われることで町の人口が増え、税収が上がり、発展出来ると思う。